

講談社の幼年文庫

声をだして読む本

せかいのうた 子どものうた

三木 卓 編



908

三木 卓 編

せかいのうた 子どものうた

講談社の幼年文庫

79 p 22cm

講談社 1978

日本音楽著作権協会(出)

許諾番号 第7805501号

「きらきらぼし」「おかしなうた」は、
さえら書房の御好意により収録しました。

〈さし絵〉

落合稜子 扉、わらいのリーゴー
となマーチ、てんしのバおかしな
えないだけれが、カバー裏。小原
拓也 さくら、ふうけい、星めぐ
りの歌、はまちどり。高志孝子
カバー表、男の子のマーチ、だれ
が見つけた、五十音、メリーゴー
ラウンド、きらきらぼし、おかしな
うた。高橋宏幸 各章扉、ねんね
んよい子、ぼうやはよい子だ、と
ても大きな月だから、うさぎ。と
したかひろ 風がふくと、ちょう、
しかられて。西村保史郎 風、雨
がふるふる、テーブルといす、お
くぎがへれば、まおう、お日さま。
峰村亮而 目次、夕日、こもりう
た、ゆめ。吉野健一 なめくじと
でんでんむし、たんぼぼ、いちじ
くにんじん、たこくんちのにわ。

せかいのうた 子どものうた

講談社の幼年文庫 A 26

昭和53年10月20日 第1刷発行

編者……………三木 卓

装丁……………蟹江征治

発行者…………野間省一

発行所…………株式会社 講談社

東京都文京区音羽2-12-21 郵便番号 112

電話 東京(03)945-1111(大代表) 振替 東京8-3930

印刷所……………図書印刷株式会社

製本所……………株式会社 堅省堂

定 価 540円

© TAKU MIKI 1978

落丁本・乱丁本はおとりかえいたします。

Printed in Japan

(見一)

8390-460264-2253 (0)

講談社の幼年文庫

声をだして読む本

せかいのうた 子どものうた

三木 卓 編



もくじ

1

子どもの 昼の うた……………5

さくらへ日本古謡 6

わらいの うたへブレイク 8

男の子の マーチへ谷川俊太郎 10

おとなマーチへ阪田寛夫 12

風が ふくとへ吉野弘 15

風へロセツティ 17

てんしの パンツへやなせたかし 18

だれが 見つけたへ西条八十 20

なめくじと でんでんむしへ関根栄一 22

ふうけいへ山村暮鳥 24

たんぽぽへ坂本遼 26

ちようへ胡適 27

五十音へ北原白秋 28

雨が ふる ふるへ沖縄童謡 30

いちじく にんじん へてまりうた 31

夕日へ葛原しげる 32

2

おやすみなさい……………35



3

- ねんねん よい 子^こへ朝鮮童謡^{ちやうせんどうやう} 36
- ぼうやは よい 子^こだへわらべうた^{わらべうた} 37
- こもりうた^{こもりうた} へ川崎^{かわさき}洋^{やう} 38
- とても 大きな^{おほきな} 月^{つき}だから へ茶木^{ちやき} 滋^{しげる} 40
- テーブルと いすへリア^{りあ} 42
- メリーゴーラウンドへマルシャーク^{まると} 46
- ゆめ へヒメーネス^{ひめーねす} 50
- 子ども^{こども}の 夜^{よる}の うた^{うた}…………… 53
- 星^{ほし}めぐりの 歌^{うた} へ宮沢賢治^{みやざわけんじ} 54
- きらきらぼし へジエーン へテイラー^{ていりあ} 56
- うさぎ へ文部省唱歌^{ぶんぶしょうていしやう} 57
- しかられて へ清水かつら^{しみずかつら} 58
- はまちどり へ鹿島鳴秋^{かしまなみあき} 60
- みえない だれかがへまど・みちお^{みちお} 62
- おくぎが へればへマザーグース^{まざーぐーす} 64
- おかしな うた へロシアわらべうた^{ろしあわらべうた} 66
- たこくんち の にわ へリングスター^{りんとあ} 68
- まおう へゲート^{げーと} 72
- お日さま へ朝鮮童謡^{ちやうせんどうやう} 76

お母さまのためのページ…………… 78



きょうも 元気な きみたち！

きみたちが すきなのは
やきゅうですか。サッカーですか。
チヨコレートですか。

にじですか。お月さまですか。
かあさんですか。

さあ、ページを ひらいて ください。

きみたち 子どもが

一日の うちに なかよしになる、

すてきな もの、

たのしい もの、

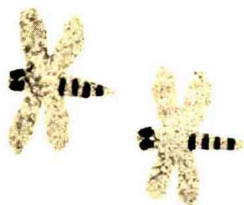
ちよっぴり こわい ものが

でて きますよ。

みんな、うたに なって

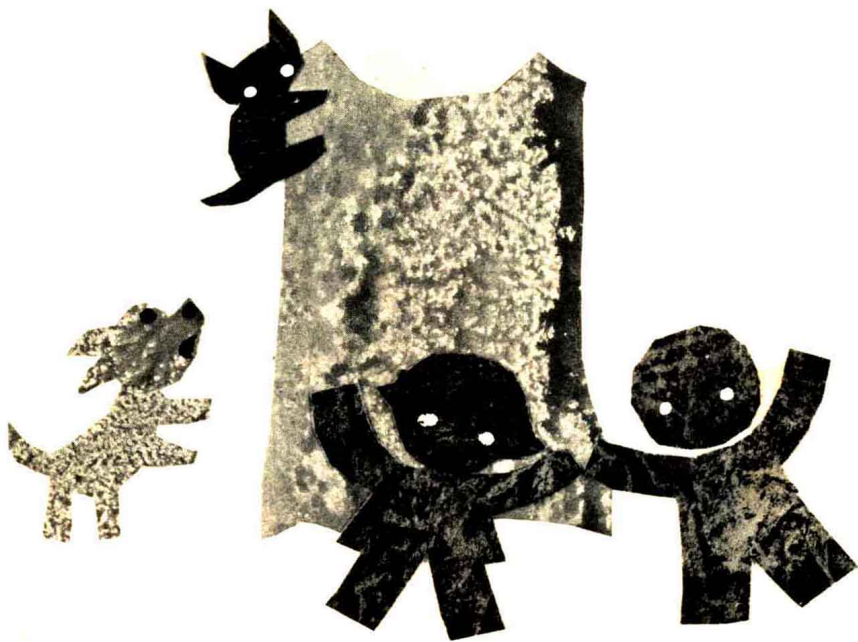
きこえて きますよ。





1 子どもの 昼の うた

昼は、きみたち 子どもの ものです。
学校で はりきって、かえって きて
はりきって あばれて、ひざこぞう
すりむいて、ねこ からかって。
子どもの 昼間は いそがしいのです。
やる ことだらけで、ぼんやりなんか
して いられない。さもないと、長い
一日も、すぐ おわって しまします。



さくら

日本古謡

さくら さくら

野やまも 里も

見わたす かぎり

かすみか 雲か

朝日に おう

さくら さくら

花ざかり

さくら さくら

やよいの 空は

見わたす かぎり



かすみか 雲か
 においぞ いする
 いざや いざや
 見に ゆかん



「さくら」
 いっせいに さきはこつて いる
 さくらの 下を、歩いた ことが
 あります。やまいちめんが さく
 らの 花で うずまって いるのを、
 見た ことが ありますか。
 ぼくは 外国で そだったので、
 きみたちぐらいの ころは、さくら
 の 花を 知らずに、うただけ
 うたって いたのです。





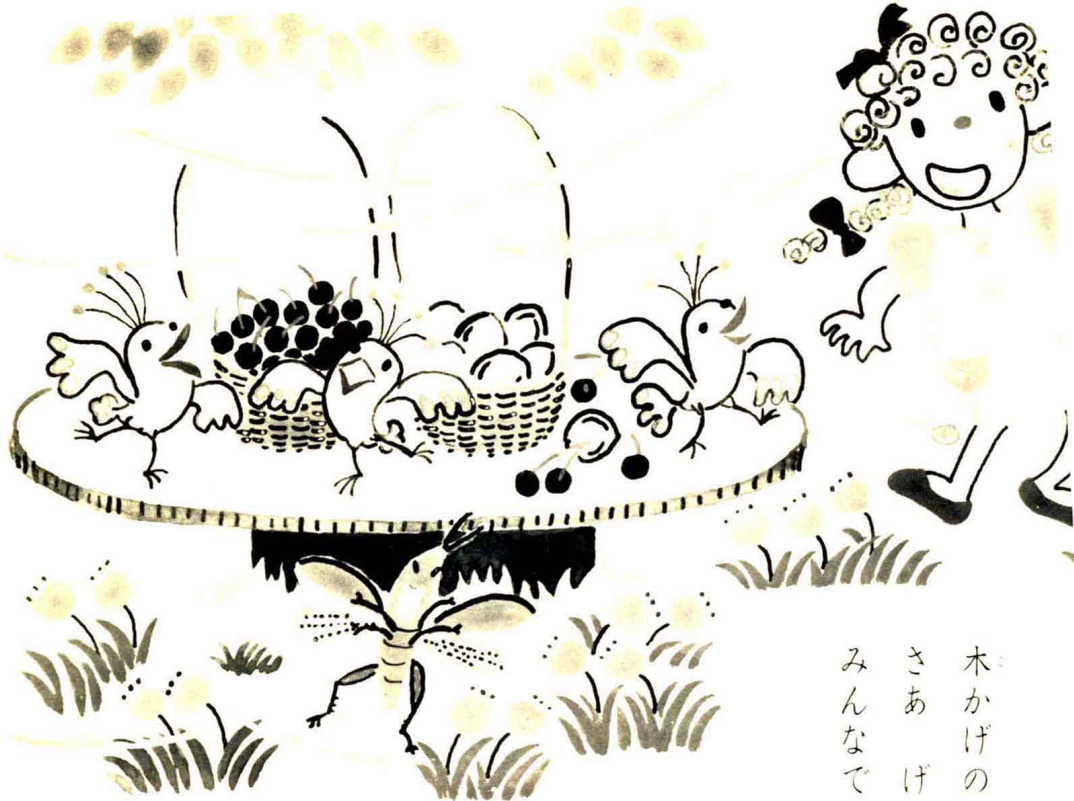
わらいのうた

ウィリアム・ブレイク
安藤一郎訳

みどりの森がよろこびわらい、
えくぼをよせる小川がわらい、
風がみんなのじょうだんでわらい、
みどりの山がこだまでわらう。

まきばはあおあおみどりでわらい、
ばったはたのしいけしきにわらう、
メリーとスーザンとエミリーがうたい、
かわいい口でハ、ハ、ヒー！

はねのきれいな小鳥がわらう、



木かげの テーブル さくらんぼと くるみ、
 さあ げんきで たのしく いっしょに、
 みんなで うたおうよ ハ、ハ、ヒー！

「わらいの うた」
 森も ばったも エミリーも、とても
 げんき。げんきじゃないとわらえない。
 きみも うんと わらって ください。
 ぼくも よく わらいます。でも、
 もうちやうの しゅじゅつを した
 あと、とても こまりました。わらうと
 おなかに 力が はいって、とても
 いたいんだもの。



男おとこの子このマーチ 谷川俊太郎やがわ しゅんたろう

おちんちんは とがってて
 月つきへ ゆく ロケット そっくりだ
 とべ とべ おちんちん
 おにが めかくししてる まに

おちんちんは やわらかくて
 ちっちゃな けものみたいだ
 はしれ はしれ おちんちん
 へびの キキより もっと はやく
 おちんちんは つめたくて



ひらきかけの はなの つばみ
 ひらけ ひらけ おちんちん
 みつは つばに あふれそう

おちんちんは かたくって
 だろぼうの ピストルに にてる
 うて うて おちんちん
 なまりの へいたい みなごろし

「男の子の マーチ」
 おしっこで 道に 字を 書いた
 ことが ありますか。ぼくは いく
 ども やりました。でも、むずかし
 い 字は 書けなかったよ。とちゅ
 うで ふでが かすれちゃうので。

おとなマーチ

阪田寛夫

なりたい なりたい

なりたい なりたい

おとなに なりたい たい！

おとなに なったら コーヒーを のんじやう

ガッポガッポ のんじやう

ぎゆうに ゆうなんか いれないでさ

さどうは ぼかぼか ぶっこんでさ

ひとくち のんだら かた目をつぶり

きょうのは すこし

にがみが たりないね

おばさん



なりたい なりたい

なりたい なりたい

おとなに なりたい たい！

おとなに なったら おそくまで おきちやう

ガッポガッポ おきちやう

テレビは ぜんぶ 見ちやつてさ

しゅくだいなんか やらないでさ

十時^{じゅうじ}を すぎたら こう いつて やるんだ

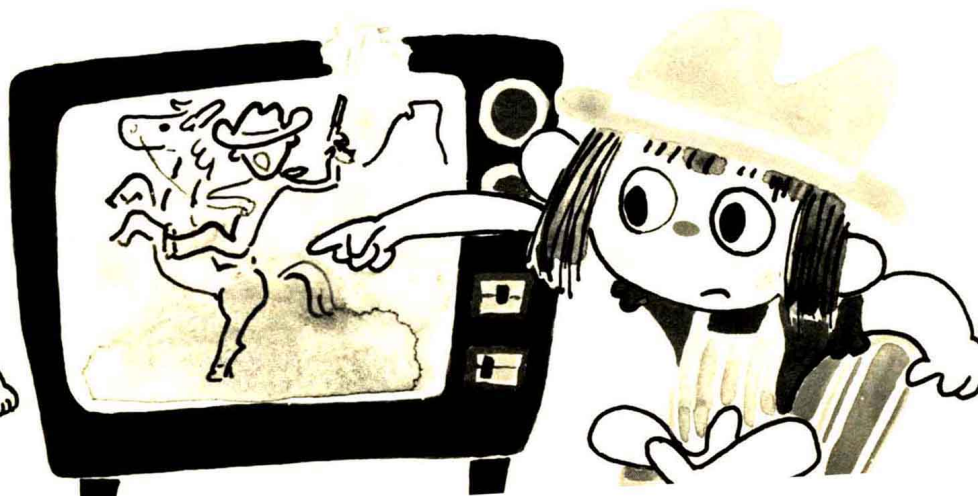
さあさあ みんな

いそいで ねちやいなさい

こども

なりたい なりたい

なりたい なりたい



おとなに なりたい たい！

おとなに なったら のっちゃうんだ タクシー

ガツポガツポ タクシー

お金を うんとこ もっててき

かた手で ひよいと とめちやつてき

とびらを しめたら ふんぞりかえって

ゆるゆる やって くれ

ぼくらの 学校へ

おじさん

「おとなマーチ」

おとなに なれば なったで、くろうが

あつて、たいへん。おとなは、「子どもの

ころは よかったなあ。」って、なつかしく

思いだして いるのです。そうだ。いつその

こと、おとなと 子ども、ぜんぶ いれか

わって みたら どうだろうね。



風^{かぜ}が ふくと

吉野^{よしの}の 弘^{ひろ}

風^{かぜ}が ふくと

おじいさま

お池^{いけ}の 水^{みづ}に

シワが たくさん

できるのね

なにが ふくと

おじいさま

おでこや ほっぺに

シワが たくさん

できちゃうの

